



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団
ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

誰もが市内どこでも行ける公共交通

鈴木やす子議員の一般質問から

2009年第4回
定例12月議会

12月4日におこなわれた市議会本会議における
日本共産党の鈴木やす子議員の一般質問の概要を
報告します。

交通機関の網の目 整備は行政の役割

〔鈴木やす子議員〕新市立病院建設にむけて、候補地選定と道路整備に市長の強い意気込みを感じる。ただし同時に、どのような立地

になろうとも、公共交通の拡充・整備は不可欠であると考え。現行の巡回バスの利用はどうか。

〔白橋茂市長公室長〕市内巡回バスと地域巡回バスの利用者は6万数千人で推移している。

〔鈴木議員〕この12月1日から中郷ニュータウン地区の路線バスの減便があった。対応策はどうか。

〔市長公室長〕市巡回バスの乗降を増加することで、12月7日より対応する。

〔鈴木議員〕市の地域公共交通会議の取り組みは、現在は民間業者の動向をみながら、その穴埋めという形とみえる。今後、どう取り組むのか。

〔石田奈緒子副市長〕巡回バスについてのアンケート

を実施予定であり、利便性や費用対効果など総合的に協議し、より良いものをつくっていきたい。民間活用をベースに考えていく。

〔鈴木議員〕誰もが必要な場所に必要時間安価に使える交通機関の網の目をつくるのは、行政の役割になってきている。私も日本共産党市議団で視察し報告もしているが、長野県の本曾町で実施している巡回バスとデマンドタクシーを併用した交通システムなどを参考にしたいはどうか。

〔豊田稔市長〕市民のために利便性の高い公共交通機関の整備に行政も積極的に関わっていききたい。

生ゴミの資源化・有効活用

〔鈴木議員〕いわゆる生ゴミは、かつては農作業の場面でも、食生活の場でも、循環・再利用されてきたものである。清掃センターが扱う生ゴミの現状はどうか。

〔大友正道環境産業部長〕家庭系ゴミと事業系ゴミすべて焼却処分している。重量で18年度3404ト、19年度2811ト、20年度2610トと減少傾向にある。

現在は、コンポストと電動式生ゴミ処理機の設置補助をおこなっている。

〔鈴木議員〕いつまでもゴミ処理という考えでなく、循環できる資源として利用すべきではないか。まちの魅力としてアピールもできるはずである。ゴミを出すところ、それを再処理して堆肥化したばあいの利用を市行政が中継ぎになって取り組むことも考えるときではないか。

〔環境産業部長〕循環型社



(冬よびかけ)

地デジ対応と ブロードバンド整備

会への取り組みは必要と考えている。今後の検討委員会で議論したい。

〔鈴木議員〕2011年7月で現在のアナログテレビ放送が打ち切りになる。茨城県内でもデジタルでの試験放送が始まり、受信状況が調査できるようになった。進捗状況と調査、広報周知はどうなっているか。

〔市長公室長〕12月16日に市内関本の中継局が開設予定である。ほぼ全域で受診可能となるが、2%と見込まれる難視聴世帯などについて調査中である。それによって新たな対応策も用意されている。市内7ヶ所で地域説明会の開催を予定しており、お年寄り世帯には民生委員による声かけなどもお

願っている。

〔鈴木議員〕国は、地デジ化を強引にすすめている。もし不都合な問題があれば、住民に一番近い自治体が国に声を上げるべきである。

次に、光ファイバー網の進捗状況はどうか。

〔市長公室長〕光ファイバーの利用可能地域は世帯数で約8割、ADSLをくわえれば9割がブロードバンドに対応できている。いっぽう、磯原町大塚や関南町神岡、および市内のほぼ西側の地域(山間部含む)、約1割の世帯が未整備である。今後、新たな事業計画を立て、山間部ふくめ整備をすすめる予定である。

〔鈴木議員〕現代は情報社会であり、情報インフラに格差はあってはならないことと、整備はしっかりやっていたきたい。



世界がもし100人の村だったら

12月5日、高萩市総合福祉センターで、人権啓発講演会が開催されました。講師は、ベストセラー『世界がもし100人の村だったら』の翻訳で知られる池田香代子さん。世界の人々の人権と、日本人の食料輸入・地産地消とを繋げて訴える視点などが新鮮でした。

(裏面に関連記事)